

ラチェット全ネジカッタ取扱説明書

取説№RAB001-01

■はじめに

- (1) この取扱説明書は、MCCラチェット全ネジカッタをご使用いただくための基本的な操作と安全な取扱方法について記載してあります。

品名	品番
ラチェット全ネジカッタ	RAB-3W

- (2) この取扱説明書では、もしお守りいただかないと大きな事故が発生する恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。又、もしお守りいただかないと工具の破損とともに事故を誘発する恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。
- (3) ご使用にあたっては、この取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行ってください。この取扱説明書に記載されている操作方法および安全に対する注意事項は、ラチェット全ネジカッタを指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に記載されていない使用方法を行う場合に必要となる安全に対する配慮はすべてご自分の責任とご考えください。

■使用目的

- (1) 全ネジボルト（軟鋼線材・ステンレス線材）を手動で切断するための工具で、両手で持って使用します。

■仕様

- (1) 切断対象材

全ネジボルト（軟鋼線材・ステンレス線材）

品名	品番	切断能力
ラチェット全ネジカッタ	RAB-3W	W3/8

*全ネジボルトとは、長ネジボルト・ズンギリボルト・吊下げボルト・アンカーボルトなどの総称です。

*この工具の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全に対する注意事項

▲ 警告

1. 切断完了時に切断したボルトの端材が飛散し、大きな災害に結び付くことがあります。切断作業時には、必ず保安帽・保護メガネ・保護手袋など保護具を着用するとともに、周辺の作業者にも十分注意して作業を行ってください。
2. 足場の不安定なところでの作業は、作業者が滑ったり、落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業できる安定した足場を確保して作業を行ってください。
3. 切断されたボルトの端面には鋭利なバリが発生し、手指を負傷する恐れがありますので、直接手指で触れないでください。

▲ 注意

1. ラチェット全ネジカッタはこの取扱説明書の仕様にある切断対象材・能力の範囲で使用してください。切断対象材以外の材質・サイズのボルトや錆びたボルト・丸棒などを切断したり、切断以外の用途に使用されますと工具が破損し、思わぬ事故を誘発することがあります。
2. ハンドルを延長したり、刃を改造したりすることは絶対にしないでください。思わぬ事故を誘発することがあります。
3. 切断は刃のネジ形状に切断対象材のネジ形状を正しく合わせて切断してください。刃と切断対象材のネジ形状が正しく合っていないと刃の破損につながり、思わぬ事故を誘発することがあります。
4. ご使用前には必ず各部の点検・注油を行い、損傷がある状態では使用しないでください。

■切断作業の前に

- (1) 日常の点検・メンテナンス

- ① 刃（左右）に砂・コンクリート・コーキングなどの異物が付着していないか、また、刃が欠損していないか確認してください。
 - 異物が付着していれば、ワイヤブラシ・ウエスなどで取り除いてください。付着物が除去できない場合および刃が欠損している場合は、刃の表裏を転換するか、替刃をお買い求めのうえ交換してください。
- ② 刃の取付けボルトが確実に締まっているかどうかを確認してください。
 - もし緩んでいれば、お手持ちの切断対象材を軽く喰わせさせたうえでボルトを増し締めしてください。
*締付トルク約8.8Nm以上(90kgf・cm以上)
- ③ 各部のボルト・ナットの緩み、ピン・リングなどの損傷や脱落はないか、正常に作動するかを点検してください。
 - もし緩んでいれば、各部の作動や荷重の状態を確認しながら増し締めしてください。
 - もし損傷や脱落などの異常があれば、修理をご依頼ください。

- (2) 作業を行われる前に

- ① 保安帽・保護メガネ・保護手袋などを着用し、正しい服装を心がけてください。
- ② 床面の油や障害物で滑ったり、つまずいたりしないように作業場所を整頓し安定した足場を確保してください。

■操作方法

(1)切断操作手順

- ① 可動ハンドルをいっぱい開いて切断刃を開いてください。図1-①
- ② 切断する全ネジボルトを刃部へ挿入し、ハンドルを半分くらいまで閉じてください。(図1-②の位置まで)
- ③ 可動刃に全ネジボルトを合わせてハンドルをいっぱいまで閉じてください。(図1-③の位置まで) ※切断位置は可動刃の下部になります。
○刃の早送り機構により刃が切断開始位置まで移動します。
- ④ 図1-④の範囲でハンドルを開き「カチッ」という音がして次のラチェットに爪が入ったらハンドルを閉じます。この動作を4~5回くり返すと切断が終了します。

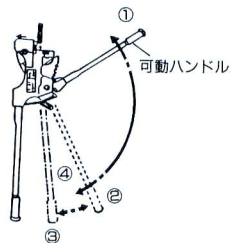
※ハンドルを開き過ぎると刃が開いてしまいますので「カチッ」という音に注意し、ハンドルを開き過ぎないようにしてください。

- ⑤ 切断終了後はハンドルを開いて切断した全ネジボルトを切断刃から外してください。
※切断終了が分かりにくい場合がありますが、ラチェットの送りが進まなくなった時点で切断は終了しています。
- ⑥ この工具には切断した端材の飛散防止用ピンが取り付けられています。(図2)

切断ごとに端材を取り除いてください。(図2)

注意：飛散防止用ピンは全ネジボルトの材質、切断長さなどの条件により完全に端材を保持できない場合がありますので保護メガネを必ず着用し、(図3)のように端材の飛散による危険の少ない側で操作してください。

(図1)



(図3)

■刃の転換および交換

- 刃は片面が破損しても、その裏側が使用できます。但し、刃の転換は片面が破損していなくてもR・L(右/左)のセットで転換してください。
- 刃は消耗品です。表裏とも欠損または摩耗し、使用できなくなりましたら替刃をお買い求めのうえ交換してください。

品名	品番
全ネジカッタ替刃	ABE-0103

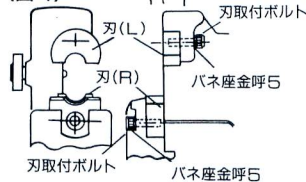
※指定以外の替刃は使用できません。必ずMCCとご指定ください。

■刃転換・刃交換方法

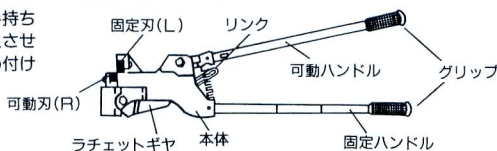
- ① 刃取付ボルトを付属の六角棒スパナで外し、刃R・Lを取り外します。
- ② 刃の取付面(凹部)の切粉や汚れをブラシなどで清掃します。
※転換の場合は転換して取付面となる損傷部の膨らみをサンドペーパーなどで平らにしてください。
- ③ 刃の取付けは(図4)のように(R)側、(L)側を正しく装着します。
その場合、刻印側を使用するときは刻印側どうし、裏面側を使用する時は裏面側同士を向かい合わせに取付けてください。
- ④ 刃は取付ボルトで仮止めを行い、お手持ちの全ネジボルトW3/8を軽く喰わせさせてから刃取付ボルトをしっかりと締め付けてください。

※締めトルク約8.8Nm(90kgf・cm)

(図4)



■各部の名称



松阪商事株式会社

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <p>■本社
〒578 大阪府本庄西2丁目82</p> <p>■東京支店
〒103 東京都中央区日本橋堀留町2丁目2-2
大和銀行ビル5階</p> <p>■名古屋営業所
〒460 名古屋市中区古渡町14-25</p> <p>■福岡営業所
〒812 福岡市博多区博多駅南3丁目3-25</p> <p>■広島営業所
〒730 広島市中区本川町1丁目3-2</p> | <p>☎(06) 747-6921
FAX(06) 747-6926</p> <p>☎(03)3661-6055
FAX(03)3661-6049</p> <p>☎(052)332-4559
FAX(052)331-9395</p> <p>☎(092)441-3016
FAX(092)441-3024</p> <p>☎(082)292-5288
FAX(082)233-2471</p> | <p>■高松営業所
〒760 高松市宮脇町2丁目30-41</p> <p>■富山営業所
〒939 富山市西公文名町5-33</p> <p>■仙台営業所
〒984 仙台市若林区大和町4丁目15-8</p> <p>■札幌営業所
〒062 札幌市豊平区美園一条2丁目2-13</p> <p>■北関東営業所
〒373 群馬県太田市飯田町1245番地の1</p> <p>■神奈川営業所
〒242 神奈川県大和市下鶴間1598</p> | <p>☎(0878)33-3020
FAX(0878)37-0569</p> <p>☎(0764)21-6180
FAX(0764)21-6105</p> <p>☎(022)235-6014
FAX(022)235-6027</p> <p>☎(011)822-8570
FAX(011)832-4041</p> <p>☎(0276)48-9116
FAX(0276)48-9117</p> <p>☎(0462)77-8620
FAX(0462)77-8632</p> |
|---|--|---|---|

株式会社 松阪鉄工所